

第3回合同部会「市民参画組織について考える」

場 所：佐伯市役所6階 第2委員会室

日 時：平成29年11月1日 19:00～21:00

議 事：

1. 市民参画組織図素案について

- ・第4回市民ワークショップにて出された市民参画組織についてのアイデアを、大中小の項目に分類し考察した結果について解説を行った。
- ・考察結果を図式化した組織のイメージ図（素案）について、協議を行った。

2. プレイベント実行委員会の結成について

- ・長野市芸術館のプレイベント事例を用いてイメージ共有を行いながら、市で企画しているプレイベントの概要を説明した。
- ・市民ワークショップの流れを汲んでプレイベント実行委員会を組織した場合、市の企画に協力する、実行委員会独自のプレイベントを企画する、など複数の選択肢があることを紹介した。

<各部会代表者より出された意見の一例>

- ・組織図について、登録制ボランティアの協力を長期的に得られる仕組みが必要と考える。有償ボランティアという形で、ポイント制など特典が得られると良い。
- ・組織図について、プレイベント実行委員会はその活動内容に注目しがちだが、しっかりした組織作りを開館前から市民主導で行っていくための良い機会としたい。
- ・プレイベント実行委員会を結成しイベントを実施するにしても、さいき春まつりと日程が重なれば、そちらの運営に参加するメンバーも多いため人手不足になる可能性がある。すみ分けを上手く考える必要があると思う。
- ・プレイベント実行委員会を新たに立ち上げ市の企画に協力するとなると、市民ワークショップで部会ごとに時間をかけて話し合ってきた事業のアイデアはどうなるのか。せっかく出来てきた部会内のチームワークを大切にしたい。

3. その他

- ・今回の結果を基に管理運営実施計画（原案）を作成し、以降の検討会議に諮るものとする。

◇第3回合同部会 ～管理運営実施計画「市民参画組織」について考える～

議題1 第4回市民ワークショップにて頂いた「市民参画と運営体制」に関するアイデアを基に、佐伯市にて素案(組織図)を作成しました。これについてご意見をお寄せください。

【検討課題】

・市民の意見は反映されているか？

→〇〇という意見が採用されていない理由は？ その理由は納得できるものか？

→他にも□□という意見があったはずだが、組織図には盛り込まれないのか？ など

・その他、気になる点はないか？

→●●の役割はどのグループが担うのか？

→この班の仕事内容がイメージできない・・・ など

議題2 プレイベント実行委員会の設立に向けて、佐伯市より提案があります。これについてご意見をお寄せください。

		組織についてのアイデア	小分類	中分類	大分類			
開館前	開館に向けた準備	選考委員会（老若男女） 意見交換会の定期開催 専門分野ごとの情報共有 ルールづくりの精査	意見交換 情報共有	合同部会の実施	プレイベント実行委員会			
		ポスター作成（学校に掲示） 広報誌作成 チラシ作成 オープニングセレモニー曲の作成 イメージキャラクター作成（応募+選考） 子育てルーム（仮）の正式名称・マスコットキャラクターの市民公募	宣伝ツール制作	PR活動				
		ネットの活用 もりあげShare	SNSの活用					
		広報計画の立案 計画的に段階を踏んだ周知(三余館の利用者など) 全体が盛り上がるように少しずつ企画 学生の休みを狙った宣伝 大分駅伝など既存イベントでの宣伝 カウントダウン「開館まで〇日」 応援団の結成 情報発信 無料会員募集	広報計画 その他	事業運営				
		イベント協力者への声掛け ワークショップ協力者への声掛け	人材募集					
		呼びたい芸人のアンケート調査→企画立案	リサーチ					
		学生による芸人への出演依頼 チケット販売						
		イベント当日のスタッフ イベントの司会 PA等技術スタッフの育成 周辺の清掃活動	イベント協力	登録制ボランティア（プレ）				
		市民の意見を聞いてくれる職員の配置 チケットの作成 イメージソングを作曲してもらう 協力会社を求め、プロに任せる		佐伯市				
		開館後	施設の運営	実行委員会 練習後の会議の場を設ける（遅くなくてもOK）			各部	(仮称) 交流館応援隊
				草むしり、ゴミ拾い 清掃		清掃	環境部	
				季節ごとの装飾 館内レイアウト		館内装飾		
				月に一度の包丁研ぎ【食育】 フリースペースでの見守り 学生が期間を決めて、施設案内を行う 市民協働室の運営 私たちが運営します！【子育て】 調理実習室の予約調整（くじ引きなど）【食育】		施設管理運営補助		
高校生が運営する				高校生部				
市内外へ向けた広報（知人、友人から） 食育イベントの広報、ポスター作り				広報部				
ボランティアも実行委員会の一員として会議等へ参加	全体会議			合同部会				
クラウドファンディング型の企画、事業運営 企画・運営マニュアルの完成度、成熟度を上げる 公と民の合同	市との連携							
市内の小中学校を集めて演劇：佐伯の良さを宣伝	事業運営				事業実行委員会			
イベント時の案内係	イベント協力			登録制ボランティア				
登録制の一時預りボランティア【子育て】 ボランティア組織をつくる								

		組織についてのアイデア	小分類	中分類	大分類	
開館後	事業の運営	ビジネスコンテストによる事業プランの募集・運営【食育】	市民アイデア収集	企画部	(仮称) 交流館応援隊	
		市民の求めるもの 何をしたいかマーケティング	リサーチ			
		企画委員会への参加				
		若手料理人が設備搬入を一緒に行う【食育】	施設管理運営補助	環境部		
		3校で協働企画の実施 "高校生運営委員会"をつくる		高校生部		
		運営委員会の発足 実行委員会をつくる 企画から準備、実行、終了まで全て		事業運営	事業実行委員会	
		ボランティアスタッフの募集 運営スタッフの選抜方法の検討 子育てに関わる全ての機関で協議会をもつ まちづくりセンターが運営に参加する 市民グループが事業を起こして参加する		市との連携	合同部会	
		もぎりマスターになる イベント当日の仕事(学生イベントの司会、会場案内など) 講師として参加		イベント協力	登録制ボランティア	
		市がボランティア募集→学生は内申点に繋がる お弁当、バイト代など協力者への報酬			佐伯市	
	事業提案	子ども食堂のニーズ調査→仕組み作り(材料や食品の提供者がいるか)	リサーチ	企画部	(仮称) 交流館応援隊	
		市民が提案できる場所がほしい 市民からの意見を吸い上げる 活動している団体(サロン、サークル)の意見をきく 年度初めに新規アイデアの募集 アイデア出しの場(こんなイベントやりたい、こんな人がいます、など) 幅広く意見を募集した上で「実行委員会」で精査、発表	市民アイデア収集			
		生徒会サミット(高校生、小・中学生)				高校生部
		タイルにハートを埋込むなど話題を呼ぶスポット作り				広報部
		ファンドの設立(先に1万円で未来を買う→見返りは地域通貨) イベントなどへのお金を出す基準 隙間時間の活用法を探して埋めていく ロビーの活用法を考える 大手前地区との連携 運営側と事業提案者(個人・グループ)を繋ぐわかりやすい窓口		市との連携	合同部会	
		イベント毎に数名の事業委員会を作り、企画をまとめてもらう 実行部隊は市民ボランティア		事業運営	事業実行委員会	
音響のサポート			舞台技術協力	佐伯市+登録制ボランティア		
事業の選定の基準づくり				佐伯市		

		組織についてのアイデア	小分類	中分類	大分類		
開館後	広報	交流館応援隊			(仮称) 交流館応援隊		
		宣伝用プリントを作成、お店や学校などに掲示 各サロン、保育園、幼稚園へのチラシ配布 検診の場でのチラシやフリー広報誌配布 高校生がチラシづくり 3校で協力してポスターづくり バス、電車での広報（デザイン募集する） 広報紙の配達→バイクに旗立てて拡声器 号外を道で撒く 交流館ステッカー（佐伯の車に貼る→市民税金、学生の自転車やランドセル、企業用）	宣伝ツール制作	広報部			
		Twitterで発信、RT Instagramで発信、“#交流館”ハッシュタグ PR動画を作成、SNSやさいきっちで紹介する SNSでの不適切なコメント、誤情報の定期的見回り SNSでの「プライバシーに配慮した」情報発信 公式SNS(Facebook、Twitter、Instagram等) 開館前からPR活動 ホームページ等 SNS 今すぐやろう！！ メディアミックスによるメディア展開	SNSやメディアの活用				
		駐車場の広報（無料バス？） 口コミ 大手前交流館の七不思議を口コミで拡散→七不思議新聞 を作成、カフェ、美容室限定で配布 いろいろな方法で発信 3ヶ月に一回市民会館ニュース！！ 大手前広報戦略 イメージキャラクターのおひろめ会	広報計画 その他				
		佐伯の町の魅力を再点検〈売り出し方〉	リサーチ	企画部			
		地元企業と連携					
		チラシ配り				佐伯市+広報部	
		市報の配布ルートを活用した広報誌配布 市報にまちづくり交流館のイベントページを作る				佐伯市	
		事業の評価	一般、有識者などからなる第三者機関設立による評価システム 事業効果の検証				第三者機関による年次事業評価
			イベント参加者へのアンケート アンケートをweb上でも行う アンケートの集計作業	事業の振り返り		企画部	(仮称) 交流館応援隊
	1年に1回、市民による投票 事業評価(アンケート結果や参加者の声を聞いて) 次回の案を出す						
	中・高校生からなる評価システムの確立 “学校単位”など			高校生部			
	実行委員会、委託団体、事業提案者、まとめたの報告会・反省会 ダメ出しではなく楽しく、より良い事業にするための企画会議！ PDCA会議			市との連携	合同部会		
	友の会	利用者=友の会 情報を受けたり、イベントに参加できる		友の会会員	交流館友の会		
友の会アプリ 高校生会報を作り、創作作品の発表をする 友の会の子育て班向け会報 会員の一体感を生むグッズ（バッチ、ピアス、スカーフ） 友の会の自主事業 懸賞		情報発信 会員特典	広報部 + 佐伯市	(仮称) 交流館応援隊 + 佐伯市			
ポイント制を活用 内申点Point 入会したら、市の特産物が安く買える			会員管理など	佐伯市			
「ボランティアの会」を別で作る				登録制ボランティア			
※登録業務や会員向けのポイントサービスなど、会員管理に関わることは市が行い、その他情報発信業務や特典関係業務は広報部と市が協力して行う。							

その他のアイデア

その他のアイデア			
開館前	開館に向けた準備	<p>■自分たちがやってみたい！</p> <p>大手前に新しい風景を創る 必ずかせぐ部分／損してよい部分、損得を見極める 運営に必要なこと Share 知らせる 継続性のあるイベントの実施 三校合同大茶会 芸人を呼ぶ 木のおもちゃの製作イベント 大手前仲町船頭町でのイベント開催 リリウオカラニ（ハワイ、フラの歴史） ヨガのイベント モーニングヨガ ムーンヨガ 中庭でハワイアンショップ フリーマーケット 食器が楽器になる曲を使ったイベント 広場を使って市民総踊り（若人の参加しやすい演目） オープン前視察</p>	<p>■市に期待すること</p> <p>10年、20年の運営設計が必要では？ 制度設計はどうなっているかを聞きたい（直営とは担当課を設けるのか？会計は一般会計か？） 完成予想図をつくる 市長の想いを知りたい 語ってほしい 将来に備え基金を積む方策 交通費（バスか電車） 芸能プロダクションに一部の施設を運営してもらう</p>
		<p>■自分たちがやってみたい！</p> <p>将来的には民間の実施主体が運営 委託団体 第3セクター的組織 イベント運営は市民参加、日々の施設運営は市 予約方法の検討（2日間使用の場合1年以上前から予約可など） キャンセルルールを定める 休館日(月)をはずして 包丁研ぎボランティア後、キッチン利用時間が終了してからBarオープン【食育】</p>	<p>■市に期待すること</p> <p>味来堂のスペース確保 放課後児童デイの利用児のための利用額の減額 働く職員は？委託団体のみ？【子育て】 予約方法の工夫（譲り合い、手間を減らす） イベント運営は市民参加、日々の施設運営は市 資金援助 譜面台が欲しい</p>
開館後	施設の運営	<p>■自分たちがやってみたい！</p> <p>市→管理、運営／市民→企画 ハコとして借りて事業推進 場所を貸して家賃をとる。収益は積立基金で 運営はBIGデータを蓄積し、近い将来AIにさせたらどうか？ 青年育成、壮年育成、老年育成、各々何を求めるか 個人、グループ、全体、年間を通して参加できる 文化振興協力が参加する 勉強の集い（自由に使える机とイスを用意する） 毎週テーマを決めてショップ出店 (例)月曜日...花屋さん、火曜日...小物等、水曜日...服 オープンキッチン オープンカフェ トラックで来る食べ物屋さん モバイルカフェ（トラック）週一でも 文化の伝承 堅田おどりなど 名画の上演 会館のみでなく町全体で1週間の関連イベント（インバウンド）</p>	<p>■市と一緒にやりたい</p> <p>市と市民でNPOを使って継続した事業の体制創り</p>
		<p>■市に期待すること</p> <p>開館を無料にしてほしい 事業推進</p>	

その他のアイデア			
開館後	事業提案	<input checked="" type="checkbox"/> 自分たちがやってみたい！ 現在有る事業を活かす提案 企画力→チームづくり 年に一度は舞台芸術を（歌舞伎、狂言、オペラ、バレエ） 自炊塾 第2のお家的存在（行けば誰かがいる、何かをおしえてくれる、話をしてくれる） 激励会（中・高部活代表者）＋各高校、中学校の吹奏楽の演奏 チャリティーイベントの開催（貧民国救済、芸術家育成、災害地域支援） →そこだけニュースをつくる プロジェクター →そこだけプロフェッショナル	<input checked="" type="checkbox"/> 市と一緒にやりたい 総合計画とのかねあい、ふり返り チャレンジイベント イベント毎の収支報告をする
			<input checked="" type="checkbox"/> 市に期待すること 資金
	広報		<input checked="" type="checkbox"/> 市に期待すること 資金
	事業の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自分たちがやってみたい！ すべての事業で目標を数値化し、達成度合いを判断 数値化できないもの→アンケート結果、証人 具体的なエピソードがあるとなお良し ☆星で評価	<input checked="" type="checkbox"/> 市と一緒にやりたい 費用便益分析（KPI） 費用対効果
	友の会	<input checked="" type="checkbox"/> 自分たちがやってみたい！ 友の会会員が、子どもが育った時、ボランティアになってくれるのが理想 毎週練習してる所→友の会 特典ほしさに移住！！ ポイント2倍（3年限定） ボランティアには責任がないため運営まではしない方が 良い ボランティアに責任を持たせるのが良い	
	市民参画を活性化するアイデア	<input type="checkbox"/> ポイント制 ボランティアポイントの導入 ボランティアに参加すると税金が免除される ボランティア紹介ポイント ポイント割と地域通貨を連動して、地域循環のシステム構築	<input type="checkbox"/> その他 企画から気軽に参加できる運営主体 日本円以外の通貨の導入 佐伯で叶えたい事をやってみる（ボランティア特典として）

プレイベント実行委員会

- ・ **合同部会の実施**
- 意見交換会の定期開催、部会ごとの情報共有、ルール作りの精査
- ・ **PR活動**
- 時期や対象者を意識した広報計画の策定、各種媒体や既存イベントを活用した宣伝
- 施設の内覧ツアー、イメージング、オープニングセレモニー曲等を募集、作成協力
- 開館までのカウントダウン
- ・ **事業運営**
- 企画立案、出演者アンケート実施、出演交渉、イベント協力者募集、チケット販売協力 など

協働

管理

登録制ボランティア

- ・ イベント当日スタッフ（もぎり、会場案内、会場清掃など）
- ・ 出演協力（講師、司会進行など）
- ・ 舞台技術（養成、本番協力） など
- ・ アンケータ、チラシ発送

開館

(仮称) 交流館応援隊

- ・ **企画部**
- 企画の公募
- 市民による事業提案ができる場の運営
- (仮称) 交流館応援隊としての企画立案
- 地元企業との連携
- ニーズ調査
- アンケータ、市民投票等の実施 など
- ・ **環境部**
- 日常清掃美化活動
- 館内装飾、レイアウト整備
- 施設案内
- フリースペースの見守り
- 諸室管理補助（備品管理、搬入出サポートなど） など
- ・ **高校生部**
- 生徒会サミットの開催
- 三校協働企画の実施
- 高校生による事業評価 など
- ・ **広報部**
- 広報戦略の立案
- 広報紙、ステッカー、ポスター、チラシ、ポスター、情報発信、活用
- SNSを活用したクラクタク、PR動画の公開
- イメージキャラクター協力、PR協力
- ホームページ管理協力、募集協力
- ホームページ制作
- 交通広告の依頼を呼ぶスポンサー作り
- 施設内に話題を呼ぶグッズ企画、等） など

環境部

- ・ 日常清掃美化活動
- ・ 館内装飾、レイアウト整備
- ・ 施設案内
- ・ フリースペースの見守り
- ・ 諸室管理補助（備品管理、搬入出サポートなど） など

高校生部

- ・ 生徒会サミットの開催
- ・ 三校協働企画の実施
- ・ 高校生による事業評価 など

広報部

- ・ 広報戦略の立案
- ・ 広報紙、ステッカー、ポスター、チラシ、ポスター、情報発信、活用
- ・ SNSを活用したクラクタク、PR動画の公開
- ・ イメージキャラクター協力、PR協力
- ・ ホームページ管理協力、募集協力
- ・ ホームページ制作
- ・ 交通広告の依頼を呼ぶスポンサー作り
- ・ 施設内に話題を呼ぶグッズ企画、等） など

合同部会

- ・ マニユアル等の見直し協力
- ・ まちづくりセンターや市民団体等との協働
- ・ 空室やロビーの活用方法の検討
- ・ 市が作成した事業選定基準に基づいた事業企画案の精査、決定、発表
- ・ 事業予算配分の検討、ファンド設立の検討 など

協力要請

管理

管理

登録制ボランティア

- ・ イベント当日スタッフ（もぎり、会場案内、会場清掃など）
- ・ 出演協力（講師、司会進行など）
- ・ 舞台技術（養成、本番協力）
- ・ 子育て一時預りサポート など
- ・ アンケータ、チラシ発送

佐伯市

- ・ 市民の意見を聞いてくれる職員の配置
- ・ 交流館イメージングの作曲
- ・ 「潜在保育士」の活用
- ・ 備品検討チームの結成
- ・ 市報の配布ルートを活用した広報紙配布
- ・ 市報にまちづくり交流館のイベントページを作成

【ボランティア・友の会会員管理】

- ・ 登録者管理（名簿、ルールなど）
- ・ 随時募集、登録受付
- ・ ボランティア報酬、ポイント管理（ポイント制、お弁当配布など）
- ・ 舞台技術ボランティアの養成 など

交流館友の会

- ・ 【特典】
- 高校生会報（制作作品を発表できる等）
- ・ 子育て会報
- ・ 友の会専用アプリ
- ・ 友の会グッズ
- ・ 友の会自主事業（会員限定イベント等）への参加
- ・ 懸賞に応募できる
- ・ 市の特産物を安く購入できる
- ・ ポイント制度 など

第三者機関による 年次事業評価

- ・ 市民や有識者等からなる第三者機関を設置
- ・ アンケータ、市民投票等の結果を基に事業の実施状況を評価

◇H29 年度プレイベント実行委員会展開（案）

市民ワークショップのメンバーを中心として、プレイベントを作り上げる。
西側用地完成記念セレモニーに合わせてプレイベントを実施し、経験や達成感を蓄積する
第一歩としたい。
準備期間が短いことと、初めての市民協働プレイベントとなることを踏まえて、市が想定
しているプレイベントに対して市民の皆さまのご協力をいただく方針としたい。

◇内容に関するご提案

WS 1：「プレイベントを企画しよう」

日時：11月22日19時～（予定）

目的：基本方針の共有とアイデアの具体化をおこなう。

内容：市が計画している西側用地完成記念セレモニープレイベントの案を確認する。
そのうえで、「より良いイベントにするアイデア」「今回のプレイベントで市民
は何をするか」「市民の追加メンバーをどう募集するか」を検討する。

WS 1後の一定期間、追加メンバーの募集を行う。

【参考】第5回WSで回答されたプレイベント実行委員会参加希望

部会	回答者数	内訳（複数回答有）			
		参加	ボランティア	未定	不参加
子育て	1	1	1		
市民協働	3			2	1
商工・観光・情報発信	4	2	1	2	
食育	2			2	
文化	5	2	2	3	
高校生	7	3	1	2	1
計	22	8	5	11	2

WS 2 : 「プレイベント実行委員会をつくろう」

日時 : 12 月下旬目安

目的 : 組織体制を具体化する。

内容 : 第 1 回で検討した内容を踏まえて、組織体制、役割分担を明確化する。
具体的な準備内容・スケジュールを検討する。

これ以降は準備活動期間として位置づけ、チームに分かれて実働する。
次回 WS までに活動を進め、WS を報告の場とする。

WS 3 : 「プレイベントを実行しよう①」

日時 : 2 月中

目的 : 全体進行確認

内容 : 各チームから進捗報告をおこない、中間確認の場とする。

WS 4 : 「プレイベントを実行しよう②」

日時 : 3 月中

目的 : 全体進行確認

内容 : 各チームから進捗報告をおこない、最終確認の場とする。

本番 !

日時 : 3 月 30 日、31 日、4 月 1 日

H30 年度 : 実施したイベントの振り返りを実施し、今後のプレイベント計画に反映する。

第4回合同部会「事業と広報について考える」

場 所：佐伯市役所6階 第2委員会室

日 時：平成29年11月7日 19:00～21:00

議 事：

1. 事業計画素案について

- ・第5回市民ワークショップにて各班より出された事業アイデアを活用し作成した事業計画（素案）の解説を行い、自主事業のコンセプトおよびイベント、開館記念事業、通年事業それぞれの事業展開について意見を求めた。

2. 広報計画素案について

- ・第4回、第5回市民ワークショップで出されたアイデアを基に作成した広報計画（素案）について、管理運営基本計画との差異を明確にしながら解説し、意見交換を行った。

3. 利用規則素案について

- ・第2回合同部会にて積み残しのあった利用規則（素案）について、改めて意見を募った。
- ・第2回合同部会後も検討継続課題とされていた飲食、飲酒や音の制限に係る事項について、検討の経過を報告した。

<各部会代表者より出された意見の一例>

- ・自主事業のコンセプトについて、開館前、開館時、開館後という3段階の内容が視覚的にも分かりやすくなるような図があると良い。
- ・広報に関連して、市内各所にフリーWi-Fiの設備が欲しい。SNSなどを通じた市民一人一人による情報発信を活性化させるために、そうした環境整備を行えないのか。
- ・利用規則について、フリースペースでの音出しに制限は設けるのか。館内にBGMを流すのであれば、そういったルール作りも必要と考える。

3. その他

- ・今回の結果を基に管理運営実施計画（原案）を作成し、以降の検討会議に諮るものとする。

事業全体の実施方針

限られた参加者を対象とした事業を実施しづらくならないか？
最適な表現を検討する

多様な交流・協力機会の創出

- 誰もが参加しやすい事業を実施するとともに、市民が気軽に立ち寄りたくなる仕掛けを施設内に作ることで、世代を超えた市民の交流機会を創出します。
- あらゆる世代、立場の市民が理解・協力し合い、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりに寄与します。

地域の文化的資源の活用

- 市民による文化活動と連携した催事や、地域の魅力を活かした優れた公演・展示などを開催し、市民へあらゆる学び・体験の機会を提供することで、人々の興味「やってみたい」を促進するとともに市民活動のすそ野を広げます。
- 佐伯市が持つ文化、伝統、自然、人材といった地域資源を活用し、次世代を担う子ども達へまちの魅力の継承を図るとともに、本施設を拠点に継続的な活動が行える環境を整備します。
- 佐伯市および本施設ならではの事業への参加を通して、市民のまちに対する愛着を育みます。

施設から市全域に広がる事業展開

- 日常的に来館することが難しい方々に向けた出前事業や、来館したことがない方も参加しやすい事業を実施することで、施設の設置目的や活動を市全体へ広め、市民の興味、関心を深めます。

複合施設の特性を活かした事業展開

- 施設・機能が連携した複合施設ならではの多角的な事業や、佐伯市の文化を活かした事業を通じて市内外から人を呼び込み、周辺地域を巻き込んでにぎわいを生み出します。

参加者や来館者を市民に限定してしまう表現のため、「誰もが」等に変更

「寄与する」「喚起する」などの難しい表現を、より分かりやすいものにする

「優れた」公演、と誰が決めるのか分からないため、この表現は削除

愛着は市民の中に自発的に生まれるもの、という視点を持った表現に

出前事業に限らず、情報紙の作成・配布なども考えられるため、より良い表現を検討する

各地区や市民活動との連携についても盛り込めないか？より良い表現を検討する

「皆が行きたくなる」など、来館者の視点に立った表現に

市民ワークショップにて出された「稼ぐ」という視点についての言及がないため、適切な表現を検討し方針や収支計画などに反映する

施設や事業が動き出してからも修正がきくように、「利用者・参加者の意見を聞き、取り入れていく」という要素を盛り込む

プレイベントの実施方針

施設に対する関心や期待感の醸成

- 誰もが楽しめるイベントを実施することで事業への気軽な参加や参加者同士の交流を促進し、施設を身近に感じられる体験機会を提供します。
- 開館後の交流館の利用を見据えて、佐伯文化会館閉館セレモニーイベントを兼ねた鑑賞型のイベントや発表の機会を創出します。
- 佐伯市の文化を活用し、市内外へ向けてまちの魅力アピールすることで周辺地域からの興味関心を喚起します。

難しい表現は分かりやすく

大手前開発事業の周知

- 市内全域を対象とした出前事業やあらゆる媒体を用いた最新情報の発信によって、大手前開発事業の進捗状況および事業に対する取り組みを周知します。

「周知」は市内に限定せず、より広域を対象とするような表現に

開館後の利用者の育成

- 市内の各種活動団体と連携したワークショップを開催し既存の地域団体や個人の活動の活性化を図るとともに、市民に学び・体験の場を提供し、開館記念式典での発表など後の市民活動へつなげます。
- 参加者が佐伯ならではの魅力を再確認できる事業を実施することで、開館後の本施設の活用イメージを広げ、まちのにぎわいを生み出すためのステップとします。

データベースは活用されなければ意味がないため、「作る」だけに留まらない表現とする

市民参画・協働の取組の推進

- 市内の様々な情報を集約しデータベースを作ったり、市民参画のきっかけや人材育成の起点となる取り組みを行ったりすることで、開館へ向けた準備を進めます。

事業実施における課題の把握と解消

- 事業実施後の評価を行うことで施設運営や事業の企画、運営、広報における課題を把握し、改善を重ねながら開館記念事業へ繋がります。

ワークショップでは「ポイント制、利用者特典を作る」という意見が出ていたが、方針に盛り込まれていないのでは？
→事業方針としてではなく、利用規則や市民参画組織などの項目に該当するため、そちらで盛り込むことを検討している。

開館記念事業の実施方針

市民と共に交流館の開館を祝う

- プレイメントからの繋がりを考慮した市民参加企画として、多くの市民にとって「ハレの日」となる市民総参加の式典やイベントを実施し、新たな施設のお披露目の場とします。
- 1年、5年、10年など周年事業も開館記念事業の延長として捉え、誰もが気軽に参加し本施設への関心を高められる各種イベントを時期に応じて実施します。

「多くの」ではなく「すべての」市民、を意味する表現に

新たな施設の完成を広く発信

- 佐伯出身の著名人や広く注目を集めるアーティストなどを招き、ハイレベルな鑑賞事業やワークショップ等を開催することで、市内外から多くの来館者を集め本施設の存在をアピールします。
- 佐伯市の持つ地域資源を有効に活用し、市民が身近な文化に改めて親しめる機会を提供するとともに、様々な手段や媒体を用いた宣伝を行い、本施設を含むまちの魅力を広く発信します。

施設利用の促進

- 特定の諸室の利用にとどまらず、複数の諸室や機能に跨った連携事業を行いながら、市民へ学びや体験、発表の機会を提供することで、諸室の様々な活用方法を紹介し施設利用を促進します。
- 佐伯市外の住民をはじめ、既に佐伯を離れたり、これから離れていったりする人々が、まちに愛着を持ちまた訪れたいと感じるきっかけを生み出すことで、新たな施設利用者の獲得に繋がります。

通年事業の実施方針

事業バランスへの配慮

- 分野・諸室ごとの事業と、機能連携して行う事業とをバランスよく実施しながら、いつも何かが行われている施設として、日常的に交流館に訪れたくなる雰囲気を作成します。
- 鑑賞事業と普及・育成事業を掛け合わせるなど、複合型の事業を展開するとともに、事業区分や主な対象者等に偏りがないう考慮することで、あらゆる市民の交流のきっかけを創出します。

時期に応じた事業展開

- 季節に応じた催しや、年度ごとに特色ある事業を展開することで、市内外から人を呼び込み、まち全体のにぎわいに繋がります。

市民の発表・活躍の場

- 市民の体験・学習の場であると同時に、日々の活動の成果を発表する機会を提供することで、多様な市民活動を支え、ともに、更なる施設利用を促進します。
- 施設内の常設機能によって市民の暮らしをより豊かにするとともに、その運営を協力して担う人材の育成を図るなど、市民参加・協働を促進し「佐伯ならではの」共催事業を展開します。

難しい表現は分かりやすく

開館記念の1年間だけが特別なのではなく、2年目以降の継続した取り組みにも力を入れる、というアンヌを盛り込むよう検討する

「催し」と「催事」など、表記のばらつきを統一する

■その他、方針全体を通して

- ✓ 言葉を詰め込み過ぎていて分かりづらい。もっとシンプルに！
- ✓ シンプルさを追求するあまり、これまでたくさん出されてきたアイデアや思いが見落とされることのないよう、調整してほしい
- ✓ 一番伝えたい言葉を文頭に持ってくるなど、難しい言葉遣い、回りくどい言い回しを見直し、分かりやすい表現に
- ✓ 大手前広場についての視点が抜けている
- ✓ 「やってみよう」を促進する、という言葉はぜひ残してほしい

■事業方針以外についても、こんなご意見が出ました

- ✓ 何のための施設なのか？言葉で説明するのはなく、この施設に希望が持てるようなキャラクターズがあると良いと思う
- ✓ 市民から親しまれる、施設の愛称があると良い
- ✓ 歴史資料館とも一体となった盛り上がり！
- ✓ 合同部会の結果をワークショップで報告する時は、直接自分の口から伝えられるよう時間を取ってほしい

■ 第5回市民ワークショップ 模造紙まとめ

※赤字は管理運営実施計画（素案）へ表記や考え方を取り入れたもの
 ※着色セルはWS時の付箋紙の色を表す（ピンク…市民の案／水色…市の案）

班	プロジェクト名	プロジェクト概要	事業展開・内容詳細	広報手段	連携したい既存団体等
1	佐伯Ship 開港Project	まずは佐伯市民館の魅力、使い方がわかってもらう 市民に楽しんでもらう 佐伯を好きになる	<p>開館前</p> <p>手作り体験 料理教室 郷土料理祭り・体験 お仕事体験 アイドル育成 世代間交流会 世代別交流会 市民文化祭</p> <p>開館記念</p> <p>文化芸術フェスティバル 美術・アートの展覧会 コンサートや舞台作品の公演 音楽祭 鑑賞会 〇〇祭り プロによる料理セミナー 佐伯を知ろう 佐伯「食の文化祭」 菓子やデザート、食の祭典</p> <p>通年</p> <p>講演会・トークショー カルチャーサロン 講師混同ミーティング</p>	<p>部会ごとのネットワーク構築</p> <p>SNS 相互交流</p> <p>人工知能 (AI) 対応活用</p>	<p>市外の人との交流 学校の仲間 まちづくり交流クラブ</p>
					<p>【発表内容より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐伯の大きな宝物である海をイメージした ・まずは市民が楽しみ、佐伯を好きになること。そこから自分たちでプロデュースしながら、市外へと広げていく ・開館前は、施設をどのように使えば良いか？肌で感じてもらう ・開館時は、市民の祭典となるような鑑賞会等を開催 ・最新技術であるSNSや人工知能によって市民同士の交流を深め、連携して、市民全体で佐伯の魅力を市外へ伝えていけるようなプロジェクトとしたい

班	プロジェクト名	プロジェクト概要	事業展開・内容詳細	広報手段	連携したい既存団体等
2	<p>食のまち佐伯をオシャレに駆けぬける！！</p>	<p>さいきの新鮮で豊富な食材を活かしてマラソンやフットボール大会などのイベントを盛り上げる！！</p>	<p>開館前</p> <p>さいきハーバルコースマラソン 高校生が考えたさいきのコース料理 各ポイントにて佐伯のうまいもんが食べられる！ 例) お寿司がその場で握られる！ コース分け：山コース、海コース、スイーツコースetc. 食育教室事業（座学） 食育教室事業（料理教室）</p> <p>開館記念</p> <p>食も取り入れたカレースプレーマラソン 佐伯フルコースマラソン 佐伯「おさかな天国」 食のまち佐伯「大収穫祭」 郷土料理祭り マルシェ・朝市・夜市・蚤の市・屋台 手作り体験 セリ、市場バックヤードツアー 手前味噌づくり大作戦 映画祭 農業体験</p> <p>通年</p> <p>イルミネーションアートフェス ウェディングドレスを着てランウェイを歩く 佐伯市高校アートフェスティバル ライトアップイルミネーション シニアコレクション</p>	<p>佐伯市出身の有名人から情報発信！！</p>	<p>高校生・各種団体</p>
<p>【発表内容より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食のまち佐伯をアピールするようなマラソンイベント ・高校生の考えたアートを取り入れたイルミネーション ・ウェディングドレスを着てランウェイを歩くなど、食だけでなくオシャレも！ ・幅広い年齢層が盛り上がる佐伯にしていきたい 					

班	プロジェクト名	プロジェクト概要	事業展開・内容詳細	広報手段	連携したい既存団体等
3	佐伯市民万博	※様々な文化事業を集約し、ブラッシュアップして市内外へ発信していく	<p>開館前</p> <p>既存の施設でイベントとして開催 実施に向けた組織づくり</p> <p>"Big Ban"</p> <p>こども演劇ワークショップ</p> <p>市民文化祭</p> <p>佐伯市高校アートフェスティバル</p> <p>佐伯市中学校文化祭</p> <p>美術・アートの展覧会</p> <p>映画祭</p> <p>音楽コンクール</p> <p>音楽祭</p> <p>こども読書まつり</p> <p>芸術文化振興事業</p> <p>佐伯市アートコンクール</p> <p>伝統芸能ワークショップ</p> <p>アート制作</p> <p>市民大会</p> <p>開館記念</p> <p>通年</p> <p>継続は"力" 文化事業掘り下げ！</p>	<p>文化事業のクオリティアップ</p> <p>↓</p> <p>マスコミ、インスタグラム</p>	市民活動グループの連携

【発表内容より】

- ・様々な文化事業を集約し、ブラッシュアップしながら市内外へ伝えていくことが重要
- ・秋の開館時は特に、文化事業を交流館へ集約し、ビッグバンによって内外へ佐伯の文化事業を知らしめる
- ・継続は力なり、文化事業を継続し発信することでクオリティを上げていく
- ・クオリティが上がればマスコミ等を活用した更なる情報発信が可能となり、仲間の増加、輪の広がりへと繋がる

班	プロジェクト名	プロジェクト概要	事業展開・内容詳細	広報手段	連携したい既存団体等	
	<p>日常の積み重ねがスペシャルを生み出す ここは皆のやりたいを実現する場所</p>	<p>事業内容 (分類なし)</p> <p>佐伯「食の文化祭」 佐伯「おさかな天国」 みそサミット 食のまちづくり交流懇話会 お菓子やデザート、食の祭典 国際交流イベント 懐かしの大手前～写真展覧会～ 〇〇祭り ワークショップ 本の持ち寄りによる市民図書館 市民文化祭 ライトアップイルミネーション 花火大会 〇〇祭り 移動動物園 ドッグラン NPO活動支援事業 (団体交流会) 婚活教室 シルバー婚活 市民交流会 ふれあい体験 ワークショップ ウェディングドレス展示会 情報発信 ホールフードフェスタ 佐伯市中学校文化祭 手前味噌づくり大作戦 大分県芸術フェスティバル「親子で楽しむ舞台劇の鑑賞会」 NPO活動支援事業 (市民協働講座) 各種ワークショップ・アウトリーチ 知ろう・つながろう・大手前 講師混同ミーティング</p>	<p>食</p>	<p>食育従事者交流会 郷土料理祭り マルシェ・朝市・夜市・蚤の市・屋台 研究開発 研究開発 手作り体験 プロによる料理セミナー 料理講習会 (魚の捌き方) 料理教室 農業体験 独居老人や孤独な子供向け共同キッチン 〇〇体験 施設を使い倒せ ふれあい体験 佐伯の食人 (職人) ストック集約事業 こどもクッキング! 食の不思議に迫る～ごまだしピザ等にチャレンジ～ ホールフードフェスタ 食育教室事業 (料理教室) 食育教室事業 (座学) 食育研究開発事業 食育勉強会事業 お菓子やデザート、食の祭典 オーガニック普及大作戦 手前味噌づくり大作戦 佐伯「おさかな天国」 佐伯「食の文化祭」 食のまち佐伯「大収穫祭」 市民文化祭 1品持ち寄り「弁当の日」 みそサミット 食のまちづくり交流懇話会</p>	<p>新しい仲間の発見とつながり 体験こそ仲間作り week year memorial スペシャルは日常の積み重ね ここは皆のやりたいを実現する場 ・広報 ・体験 ・継続 ・つながり 日常利用は触れ合い体験 単発にしない 皆で力を合わせる 新しい仲間の発見とつながり</p>	<p>思い</p>
5						

班	プロジェクト名	プロジェクト概要	事業展開・内容詳細	広報手段	連携したい既存団体等
5		<p>舞台技術ワークショップ マッティング推進事業（講座の開催） 開館記念式典・開館記念公演 映画祭 体幹運動体験会 カルチャースタロン こども新年会 食育交流会事業 建築現場見学</p>	<p>植樹・植栽 農業体験 市民講師による講座 ワークショップ 国際大会・学会 市民文化祭・運動会 企業・大学との連携 講演会・トークショー 佐伯を知らう ワークショップ 発表会 お仕事体験 工作体験 舞台技術ワークショップ マッティング推進事業（講座の開催） 竹灯篭つくり体験 ベビーマッサージ体験会 懐かしの大手前～写真展覧会～ 文化芸術フェスティバル 知らう・つながろう・大手前 NPO活動支援事業（市民協働講座） NPO活動支援事業（団体交流会） 食育勉強会事業</p> <p>学び</p>		
6			<p>佐伯市民の日 市民文化祭 市民参加ミュージカル 市民大会 アート制作 映画祭 展覧会 芸術文化復興事業 工作体験 佐伯市民ミュージカル 佐伯市高校アートフェスティバル 佐伯市中学校文化祭 佐伯市アートコンクール 美術・アートの展覧会 文化芸術フェスティバル 伝統芸能ワークショップ 映画祭</p> <p>芸術</p>		

班	プロジェクト名	プロジェクト概要	事業展開・内容詳細	広報手段	連携したい既存団体等	
5	教育		学習・生活・創業支援 知育学習 食育交流会事業 食育教室事業（座学） 食育教室事業（料理教室） 食育勉強会事業			
			音楽			こどもの日イベント 音楽コンクール 小学校へ音楽アウトリーチ コンサート 音楽祭 鑑賞会 音楽練習
						コンサートや舞台作品の公演 シアター劇場（幼児向け映画上映） 初めてのピアノ鑑賞体験
スポーツ			プロスポーツ観戦 子ども身体測定会 市民文化祭運動会 地域運動企画 LGBTカラーマラソン スポーツ選手との交流会 乳幼児運動会 体幹運動体験会			

班	プロジェクト名	プロジェクト概要	事業展開・内容詳細	広報手段	連携したい既存団体等
5			<p>子育てサポート（療育） 子ども運動会・体力作り 周辺子育て福祉施設との連携・交流 カルチャースalon 乳幼児運動会 こども新年会 こども読書まつり 佐伯市こどもミュージカル おばあちゃんの知恵袋 初めてのピアノ鑑賞体験 シアター劇場（幼児向け映画上映）</p> <p>クラス会 市長誕生祭 自閉症啓発ウォークブルーライト 子育て講習 市民交流会 ワークショップ 親子体験 世代別集会 社会貢献 〇〇遊び カルチャースalon体験 大分県芸術フェスティバル「親子で楽しむ舞台劇の鑑賞会」 こども演劇ワークショップ</p>		
			<p>子供</p> <p>ファミリー</p>		
			<p>【発表内容より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館を上手に使いまわすことが重要 ・いろいろな場所で行っているが、それを束ね、日常の積み重ねを集めてスペシャルにする場所にしたい ・1回のイベントだけでは仲間の繋がりが生まれない ・1日ではなくweekで行う、更にそれが積み重なってmemorialになる ・不足を述べるのではなく、私たち自身が可能性を作り上げる ・単発で終わらず、佐伯市民一人一人の中にある「佐伯を何とかしたい」という気持ちに火をつける。佐伯の中で火をつけ合うような場所にしたい 		

事業計画(案)

1. 基本計画の確認

平成28年12月策定の管理運営基本計画において、事業計画の基本的な考え方を以下のように設定しました。

世代を超えた交流機会の創出

- ・市民参加によるフェスティバルなど、市民がだれでも気軽に参加できる事業や施設内のフリースペースに人が集まる仕掛けを行うことで、世代を超えた交流機会を創出します。

地域の文化的資源を活用した事業展開

- ・吹奏楽や合唱、舞踊、ミュージカルなど市民による文化活動と連携を図りながら、ワークショップや鑑賞事業など様々な事業を展開することで、人々の興味「やってみたい」を促進し、活動のすそ野を広げます。
- ・次世代を担う子ども達に佐伯市の文化や活動を引き継ぎ、本施設を拠点に継続的な活動が行える環境を整備します。

施設から市全域に広がる事業展開

- ・日常的に来館することが難しい方々のために、各地域の施設、学校等への出前事業を行うことで、施設の設置目的や活動に対する興味、関心を深めます。

複合施設の特性を活かした事業展開

- ・本施設で行うあらゆる事業において、施設、機能の連携を考えた多角的な展開を行います。
- ・貸館事業においても、複数の施設を活用した展開を助言するなど、利用者に本施設の有効な使い方を提案します。

2. 事業の実施方針

基本計画を踏まえ、(仮称) 大手前まちづくり交流館及び(仮称) 大手前広場における事業全体の実施方針を以下のとおり設定します。

多様な交流・協力機会の創出

- ・ 世代を超えた交流機会
 - ・ 幅広い人々が参加できるよう、多種多様な事業をおこないます。
 - ・ 誰もが気軽に立ち寄りたくなる仕掛けを施設内に作り、人々が交流するきっかけを生み出します。
- ・ 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり
 - ・ あらゆる世代、立場の市民がお互いに理解、協力し合う事業をおこないます。

地域の文化的資源の活用

- ・ 市民の「やってみたい」を応援
 - ・ 市民活動と連携した事業をおこないます。
 - ・ あらゆる学び、体験の機会を提供することで、市民活動のすそ野を広げます。
- ・ まちの魅力を伝える
 - ・ 地域の魅力を活かした事業をおこないます。
 - ・ 佐伯市が持つ文化、伝統、自然、人材といった地域資源を活用した事業を展開します。
 - ・ 次世代を担う子供たちへまちの魅力を伝え、本施設を拠点に継続的な活動がおこなえる環境を整えます。
 - ・ 佐伯市ならではの事業をおこない、市民がまちに対する愛着を抱くきっかけを作ります。

施設から市全域に広がる事業展開

- ・ 事業を届ける
 - ・ 日常的に来館することが難しい方々に向けて、出前事業や情報提供をおこないます。
 - ・ 来館したことがない方にも参加しやすい事業をおこない、興味、関心を深めます。
- ・ 市民と連携する
 - ・ 市民活動との連携を図り、施設の設置目的や活動を市全体へ広めます。
 - ・ 市民の意見を取り入れ、事業展開に反映させます。

複合施設の特性を活かした事業展開

- ・ 多角的な事業
 - ・ 複数の諸室や機能に跨った連携事業をおこないます。
 - ・ 佐伯市の文化を活かした事業により市内外から人が集う仕組みを作り、周辺施設を巻き込んでにぎわいを生み出します。

3. 自主事業計画

(1) 事業の展開

①事業の実施区分

(仮称) 大手前まちづくり交流館及び(仮称) 大手前広場における自主事業は以下の区分で実施していきます。

【自主事業区分と内容】

区 分	内 容
鑑賞事業	優れた芸術作品や各種公演の鑑賞機会を提供する事業
普及・育成事業	多種多様なワークショップに併せて、アウトリーチ活動を行うことで、各種活動の普及と次世代を担う人材及びそれらを支える人材を育成する事業
参加・交流事業	市民参加によるフェスティバルや国際交流イベントの開催といった参加・交流事業
地域・発信事業	地域に根差した伝統芸能を活用するなど、地域の魅力を発信する事業
にぎわい創出事業	周辺商業施設等と連携したイベント等、まちづくりの拠点としての役割を担い中心市街地をはじめとするまちのにぎわいにつなげる事業
市民自主事業	市民が自ら企画立案し実施まで行う事業
市民提案事業	市民からの提案要望に基づき実施する事業

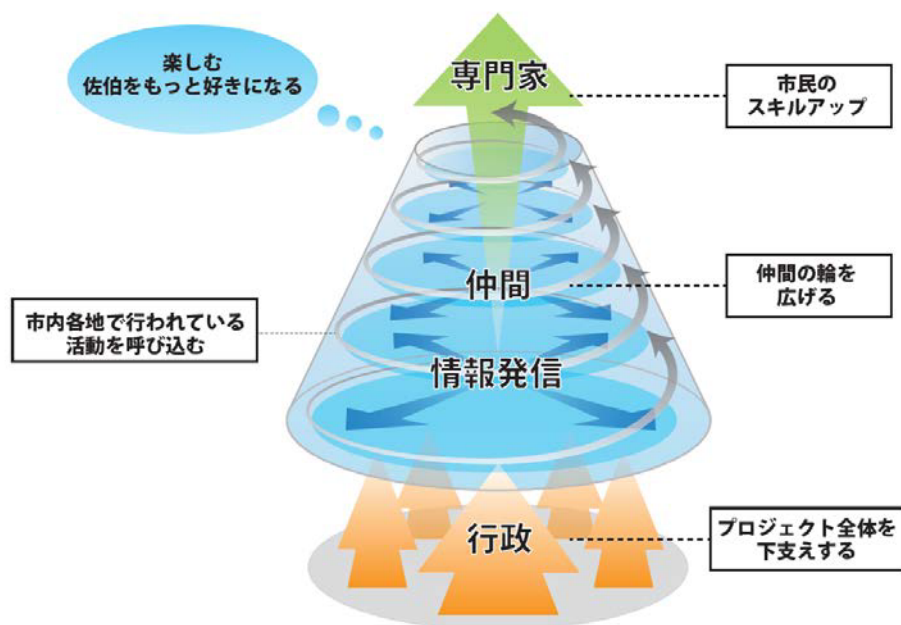
②自主事業のコンセプト

(仮称) 大手前まちづくり交流館及び(仮称) 大手前広場は、大手前開発基本計画の計画目標である「にぎわいの創出と市民活動の活性化」の実現に向けた自主事業を展開します。

開館前には、まず日々の活動を充実させ、市民が楽しめる・佐伯をもっと好きになる地盤作りに取り組みます。そのためには、市内外への情報発信も重要です。本施設が市民活動の中心となり、情報や体験の共有によって仲間の輪を広げながら、市内各地で行われている活動と呼び込んでいきます。

開館時には、日々の活動の成果発表や、周辺地域をも巻き込んだ大きなイベントへと発展させ、にぎわいを生み出します。

開館後は、市民自らが楽しんだり、新たな仲間を増やしたりすることで、日々の活動をますます充実させていきます。継続することによる市民のスキルアップ、更なる仲間の増加、市民活動の発展、というサイクルを生み出します。



(2) プレイベント

①プレイベントの実施方針

施設に対する関心や期待感を育てる

- 施設を身近に感じられる機会
 - 誰もが楽しめる事業を実施することで、事業への気軽な参加や参加者同士の交流を促します。
 - 佐伯文化会館閉館セレモニーを兼ねた鑑賞型事業をおこないます。
 - 市民の発表の機会を設け、開館後の本施設の利用に繋がります。
- 周辺地域からの興味関心を高める
 - 佐伯市の文化を活用し、市内外へ向けてまちの魅力をアピールします。

大手前開発事業の周知

- 情報の発信
 - 市内全域を対象とした出前事業をおこない、事業に対する取り組みを周知します。
 - あらゆる媒体を用いて、市内外へ最新の事業進捗状況を発信します。

開館後の利用者の育成

- 開館後の市民活動への繋がり
 - 市内の各種活動団体と連携することで、既存の地域団体や個人の活動の活性化を図ります。
 - 市民に学び・体験の場を提供し、開館記念式典での発表を始めとする市民活動へ繋がります。
- まちのにぎわいを生み出すステップ
 - 参加者が佐伯市ならではの魅力を再確認できる事業をおこない、開館後の本施設の活用イメージを広げます。

市民参画・協働の推進

- 市民の発掘・育成
 - 市内の様々な情報を集約したデータベースを作成し、その活用に取り組みます。
 - 市民参画のきっかけや人材育成の起点となる事業をおこないます。

事業実施における課題の把握と解消

- 事業評価の実施
 - 施設運営や事業の企画、運営、広報における課題を把握し、改善を重ねながら開館記念事業へ繋がります。

②実施内容

イベントの実施方針に基づき、以下の内容で事業を展開します。

テーマ

新しい仲間の発見とつながり ～体験こそ仲間作り～

1. 誰もが楽しみ、気軽に参加できる交流会や、佐伯の文化を活用した鑑賞会等を開催します。
例) 交流館建設予定地での建築現場見学会
佐伯市まちづくりセンター、よろうや仲町など既存施設での市民交流会
佐伯文化会館を活用した伝統芸能鑑賞会や発表会 など
2. 各種アウトリーチや体験会、市民説明会等を実施します。
例) 各小学校へ出向く音楽アウトリーチ

弥生文化会館や各地の公民館などを利用した説明会、上映会 など
3. 佐伯市内の各種団体と連携し、関係者同士が情報交換できる場を設けます。
例) 周辺子育て福祉施設との情報交換会
食のまちづくり交流懇話会 など
4. 佐伯の文化を活用したワークショップや講座等を開催します。
例) 佐伯食材を用いた料理教室
みそづくり講習会 など
5. 開館に向けた環境整備を、市民と協働しながら進めます。
例) 事業協力者データベースの作成
舞台技術サポーター養成ワークショップ など
6. 事業の実施後には都度振り返りを行うことで適切な事業評価を行い、把握した課題に対する改善を重ねることで、開館後の事業計画に役立てます。

(3) 開館記念事業

①開館記念事業の実施方針

市民と共に交流館の開館を祝う

- 新たな施設のお披露目
 - プレイベントからの繋がりを考慮した市民参加企画として、すべての市民にとって「ハレの日」となる市民総参加の式典やイベントをおこないます。
- 時期に応じた周年事業
 - 1年、5年、10年など周年事業も開館記念事業の延長として捉え、誰もが気軽に参加し本施設への関心を高められる各種事業を開催します。

新たな施設の完成を広く発信

- 交流館のアピール
 - 佐伯出身の著名人や広く注目を集めるアーティストなどを招き、ハイレベルな鑑賞事業やワークショップ等を開催することで、市内外から多くの来館者を集めます。
- まちの魅力の発信
 - 佐伯市の持つ地域資源を有効に活用し、市民が身近な文化に改めて親しむ機会を生み出します。
 - 様々な手段や媒体を用いた宣伝をおこない、本施設を含むまちの魅力を広く発信します。

施設利用の促進

- 施設の活用方法の紹介
 - 複数の諸室や機能に跨った連携事業をおこないながら、諸室の様々な活用方法を紹介することで、更なる施設利用を促します。
 - 施設が市民の学びや体験、発表の場となり、市民一人ひとりの力を発揮できる舞台となります。
- 新たな施設利用者の獲得
 - 佐伯市外の住民をはじめ、既に佐伯を離れたり、これから離れていったりする人々が、まちに愛着を持ちまた訪れたいと感じるきっかけを生み出します。

②実施内容

開館記念事業の実施方針に基づき、以下の内容で事業を展開します。

テーマ

佐伯 Ship 開港 Project ～^み魅せる・^み味せる・^み観せる～

1. すべての市民を対象とした、市民参加型の式典や発表会等を開催します。
例) 交流館開館記念セレモニー
佐伯市こどもミュージカル公演・鑑賞会 など
2. ハイレベルな鑑賞事業や、プロの指導によるワークショップ等を実施します。
例) 多目的ホールでのオーケストラコンサート
キッチンコートを利用したプロによる料理セミナー など
3. 周辺地域を巻き込んだイベントを、交流館を拠点として開催します。
例) 佐伯の食文化と連携したスポーツイベント
佐伯出身の著名人にちなんだファッションイベント など
4. 市内外の人々へ、交流館の活用方法を紹介できる館内連携事業を行います。
例) 子育て支援室と多目的ホール、大手前広場が連携することも運動会
交流館全館を活用した佐伯市民文化祭 など

(4) 通年事業

①通年事業の実施方針

事業バランスへの配慮

- ・ 日常的に訪れたいくなる雰囲気
- ・ 分野・諸室ごとの事業と、機能間で連携する事業とをバランスよく実施しながら、いつも何かがおこなわれている環境を作ります。
- ・ 交流のきっかけ作り
- ・ 鑑賞事業と普及・育成事業を掛け合わせるなど、複合型の事業を展開します。
- ・ 事業区分や主な対象者等に偏りがないよう考慮します。
- ・ 一緒に活動や情報交換ができる仲間との繋がりを生み出します。

時期に応じた事業展開

- ・ 季節催事の実施
- ・ 季節に応じた催事や、年度ごとに特色ある事業を展開することで、市内外から人を呼び込み、まち全体のにぎわいに繋がります。

市民の発表・活躍の場

- ・ 市民活動を支える
- ・ 市民の体験・学習の場であると同時に、日々の活動の成果を発表する機会を設けることで、多様な市民活動を支えます。
- ・ 施設内の常設機能によって市民の暮らしをより豊かにします。
- ・ 「佐伯ならではの」市民参画・協働
- ・ 事業運営を協力して担う人材の育成を図るなど、「佐伯ならではの」の共催事業を展開します。

②実施内容

通年事業の実施方針に基づき、以下の内容で事業を展開します。

テーマ

佐伯市民万博 ～日常の積み重ねがスペシャルを生み出す～

1. 施設内のフリースペースを活用し、思わず立ち寄りたくなるアートイベント等を継続して行います。
例) アートプラザでの市民制作アート展示
ロビーコンサート
フリーマーケット など
2. 複数の事業区分に跨る販売会や、一緒に活動する仲間との繋がりを生む交流会等を実施します。
例) 周辺商店街や地元生産者と協力し、大手前広場で開催するマルシェ（参加・交流事業×地域・発信事業×にぎわい創出事業）
NPO 団体交流会 など
3. 佐伯の自然や文化に触れられる、季節に応じた集いや体験会等を開催します。
例) 城山と連動したイルミネーションアート
さいき春まつりの時期に合わせた竹灯籠づくり体験 など
4. 市民の「やってみたい」を実現する場として、定期講座や発表会等を開催するほか、施設内には市民が運営に携わることのできる常設機能を設けます。
例) スタジオや食育活動支援室等で定期開催するカルチャーサロン
多目的ホールでのカルチャーサロン発表会
アートプラザにて本の持ち寄りによる市民図書館 など

広報宣伝計画（案）

1. 広報宣伝の検討

（1）実施方針

管理運営基本計画では、以下3つの基本的な考え方を策定しました。

- 様々な媒体を活用したPR
- 複合施設への関心を高め、利用意欲を喚起
- 市民参加による情報発信

これらを踏まえ、情報誌・機関誌の発行やウェブサイトなどにより、施設の情報を広く発信することで、市内外の多くの人々へ施設や事業について周知し、市民活動の意欲を高めるとともに、来館・利用意欲も高めていきます。

また、市民参画の特性を活かして、市民同士が知り合いや周辺地域の住民を誘い込むように口コミやSNSによる情報拡散を展開することで、認知度の向上を目指します。

（2）具体的な方策

①市民参加の促進

インターネットを有効に活用することで、市民が気軽に協力できるSNSや口コミでの最新情報拡散を促します。

また市民同士の繋がりによって、情報を伝えるだけでなくそこに交流を生み出し、更なる仲間の獲得に繋がります。

例) ウェブサイトや公式SNSで開館までのカウントダウンを行う
身近な人へ配布したくなるステッカーの作成 など

②各所との連携

情報発信には、様々な関係者の協力が効果的です。本施設からの発信による広報だけでなく、周囲へも連携を働きかけることで、より広い範囲への情報拡散を目指します。

例) 佐伯出身の著名人やイベント出演者にもPRへの協力を依頼
市内企業や周辺文化施設と相互連携した広告の展開 など

③イメージキャラクターやテーマソング等の活用

交流館の存在や取り組みをより目立たせ、皆に親しまれる施設となるために、市民の意見を反映させたイメージキャラクターやテーマソング等の作成を検討します。各作品は施設完成後もあらゆる広報宣伝に活用し、市民への定着を図ります。

例) 交流館イメージキャラクターの公募・選定

開館記念セレモニー曲の作成 など

2. 愛称、ロゴタイプの募集

施設に対して愛着・親近感を持ってもらうとともに、知名度向上を目指し、施設愛称を一般公募等により付与します。その際、複合施設名称だけではなく、多目的ホール（大）・多目的ホール（小）・各施設についても愛称付与の対象とすることを検討します。

また合わせてロゴタイプも作成します。ロゴタイプの作成にはデザインの専門的な知識も必要となることから、選定の過程で市民の意見を取り入れることを検討します。

プレイベント実行委員会実施記録

プレイベント実行委員会キックオフ

場 所：佐伯市役所

日 時：平成 29 年 11 月 22 日 19:00～21:00

議 事：

1. プレイベント実行委員会キックオフ

- ・プレイベント実施に向けて、以下の認識共有を行った
 - ・実施方針の再確認
 - ・共催事業推進主体が市民主導になることを期待していること
- ・プレイベントの開催要件について認識共有を行った。
 - ・開館までのスケジュール
 - ・平成 29 年度予算（150 万円）
 - ・平成 29 年度のスケジュール

2. イベントの実施方針

- ・プレイベントの実施方針について大方針を検討した。（詳細次項）

◆プレイベント実施に向けた全体会議 キックオフのまとめ

議題1. プレイベントの目的

- ☆ 周知活動 <外へ>
- ☆ 仲間を増やす <内へ>

交流館の開館に向けて、その取り組みを広く外側へ向けて発信していく「周知活動」と、チームの内側へ人を呼び込み、活動の輪を広げていく「仲間を増やす」の2つがプレイベントの大きな目的であることを、改めて確認しました。

議題2. チーム名を考えよう

当初、「プレイベント実行委員会」という仮の名前をつけていたこの全体会議ですが、より良いチーム名を参加者皆で考えよう！ということで、アイデアを出し合いました。

今回の会議の中では決定に至らなかったため、継続課題として次回へ持ち越すことに。具体的にどんな案が出たのか？第2回全体会議資料をご確認ください。

議題3. どんなイベントにする？

■基本的な方針について考えよう

◎既存のイベント（春まつりなど）に便乗する方法

- ・集客性のあるイベントにぶつけると、周知の効果がありそう。
→同じ日に開催するとスタッフが春まつりで忙しく、マンパワーの問題が…
- ・新たなイベントを1から作るのは時間がかかる。今あるものを活用した方がいいと思う。
- ・独自イベントでお客さんを集めるのは難しい。初めから人が集まる場所にぶつけた方が効率が良い。

◎独自のイベントを企画する方法

- ・春まつりに便乗すると2日間で終わってしまうが、オリジナルのイベントを企画すれば継続的な周知活動ができる。
- ・皆、春まつりには“遊び”に来ている。そこで交流館のアピールをしても、あまり印象に残らないかもしれない。
- ・「仲間を増やす」ためには、大きなイベントにこだわる必要はない。

⇒協議の結果、「独自のイベントを企画する」方針に決定しました。

■具体的なイベント案を出し合ってみよう

・施設模型の展示

- 模型は市民説明会にも持って行くので、そこでも見ることができる。
- 説明会には高校生など若者が参加しない。学校に模型を持っていくなど、出張展示があれば興味を持ちやすい。堅苦しいのはNG！

・プロモーションビデオを作り、具体的な施設の使い方を知ってもらう

- ケーブルTVに協力してもらいたい。費用はどのくらい？
- プロに全てお任せするより、手作り感があつた方が人々の目に留まりやすい。市民が出演したり、高校生が撮影したり出来ないか。
- 施設の使い方だけでなく、これから実施するイベントを撮影してビデオにすれば良い周知活動になる。
- ⇒費用とスケジュールについて、市からケーブルTVへ確認してもらうことが決定。

・高校生バンドによるライブ

- 会場は？：文化会館、建設予定地に仮設の大テント、野外劇場（立ち見200人）
- 相乗りできるアイデアは？：食のイベント、子どもミュージカルと高校生吹奏楽のコラボ…



アイデアをまとめ、実施するイベントの内容を次のように決定しました。

Why：何のために？	what：何をする？	When：いつ？
<p>▶イベントの目的 「周知活動&仲間を増やす」 を実現するため！</p>	<p>▶高校生：ライブ、吹奏楽、 書道パフォーマンス、お茶</p> <p>▶子どもミュージカル (高校生吹奏楽とコラボ)</p> <p>▶展示 ▶食：当時の再現</p>	<p>▶2017年3月後半</p> <p>▶一定のイベント期間を設け、 その中にメインの日(土日) を作る</p>
Who：誰が？	Where：どこで？	How：どうやって？
<p>▶高校生</p> <p>▶子どもミュージカル</p> <p>▶高校生アンテナショップ 味来堂+食育部会</p>	<p>▶大手前：野外劇場 建設予定地</p>	<p>▶屋台×8台を活用</p> <p>▶役割分担は… (※次回詳しく)</p>

◇市民ワークショップ全体会議～プレイベントの実現に向けて 議題案

<参考資料>

- ①プレイベント実施方針と市主催企画について
- ②H29年度プレイベント実施スケジュール（案）
- ③実施イベント決定に向けた考え方の提案

実施するプレイベントの決定に向けて

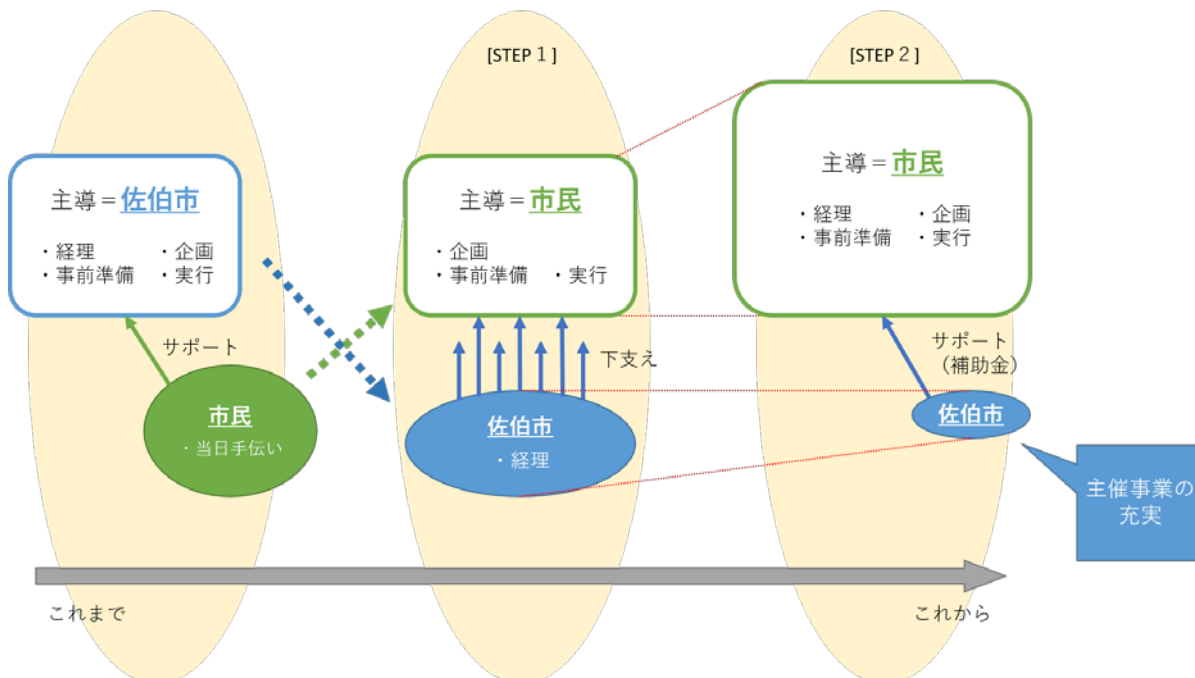
1. 実施方針の再確認

・・・資料①

- ・管理運営実施計画に記載予定のプレイベント実施方針（案）再確認
- ・市主催プレイベント企画4案について紹介
（市民の協力の有無に依らず開催）

2. これからの共催事業推進主体について

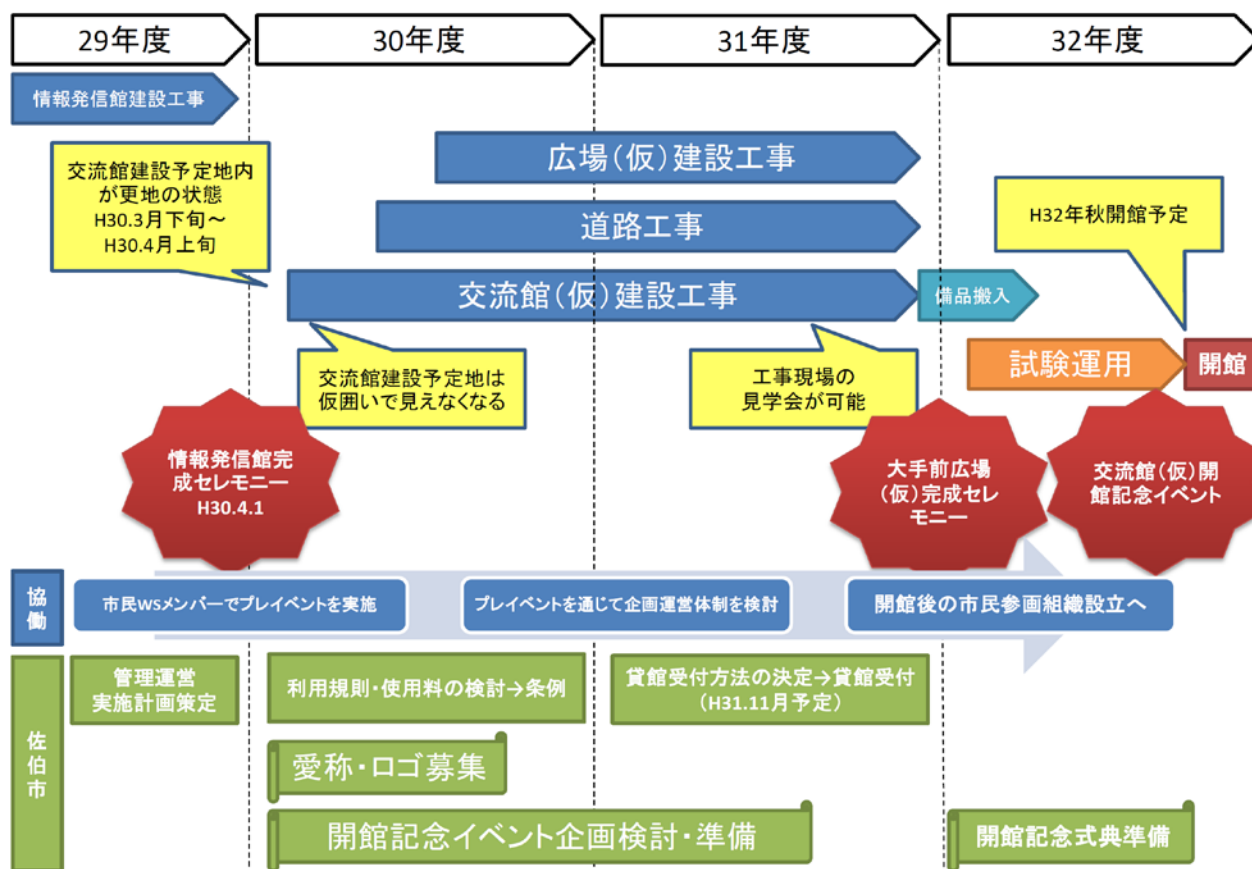
[交流館が目指す共催事業推進主体のかたち]



3. 開催要件について

- ・開館までの全体スケジュール（下図）
- ・H29年度予算（150万円）
- ・市民企画プレイベント第1弾開催までの年度内スケジュール（案）・・・資料②
- ・春まつりや、その他市内イベントとの兼ね合い

大手前開発事業完成までのスケジュール（予定）



プレイベント実施に向けた企画立案キックオフ

4. チーム名の決定

- ・「市民ワークショップ」に代わるチーム名を考える
(当日欠席者の対応も含めて検討)

5. ワークショップアイデアの具体化(企画)

- ・第1、2、5回市民ワークショップより、考え方の提案 ……資料③
- ・実施イベントの決定
- ・企画書の作成(イベント名、目的、日程、会場、参加対象など)

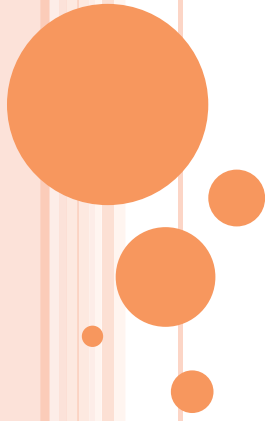
6. プレイベント実行メンバーの方針案

- ・市民ワークショップ参加メンバーを中心に組織すること
- ・新メンバーの募集、外部への協力依頼等は原則としてメンバー自身
が中心となってい、市はそのサポートをすること

次回テーマ

7. イベント実現のために必要な役割と分担を考える

- ・例) 委員長、副委員長、会計、広報、渉外、問合せ窓口、設営撤去、
イベントサポート(会場案内、受付、記録、清掃…) など
- ・人手不足のポジションがあった場合は?(協力者の集め方)



大手前開発 プレイベントの実施 ・市民参画組織づくりに向けて

H29年11月22日 19:00-21:00 本庁舎6階大会議室
市民ワークショップ全体会議

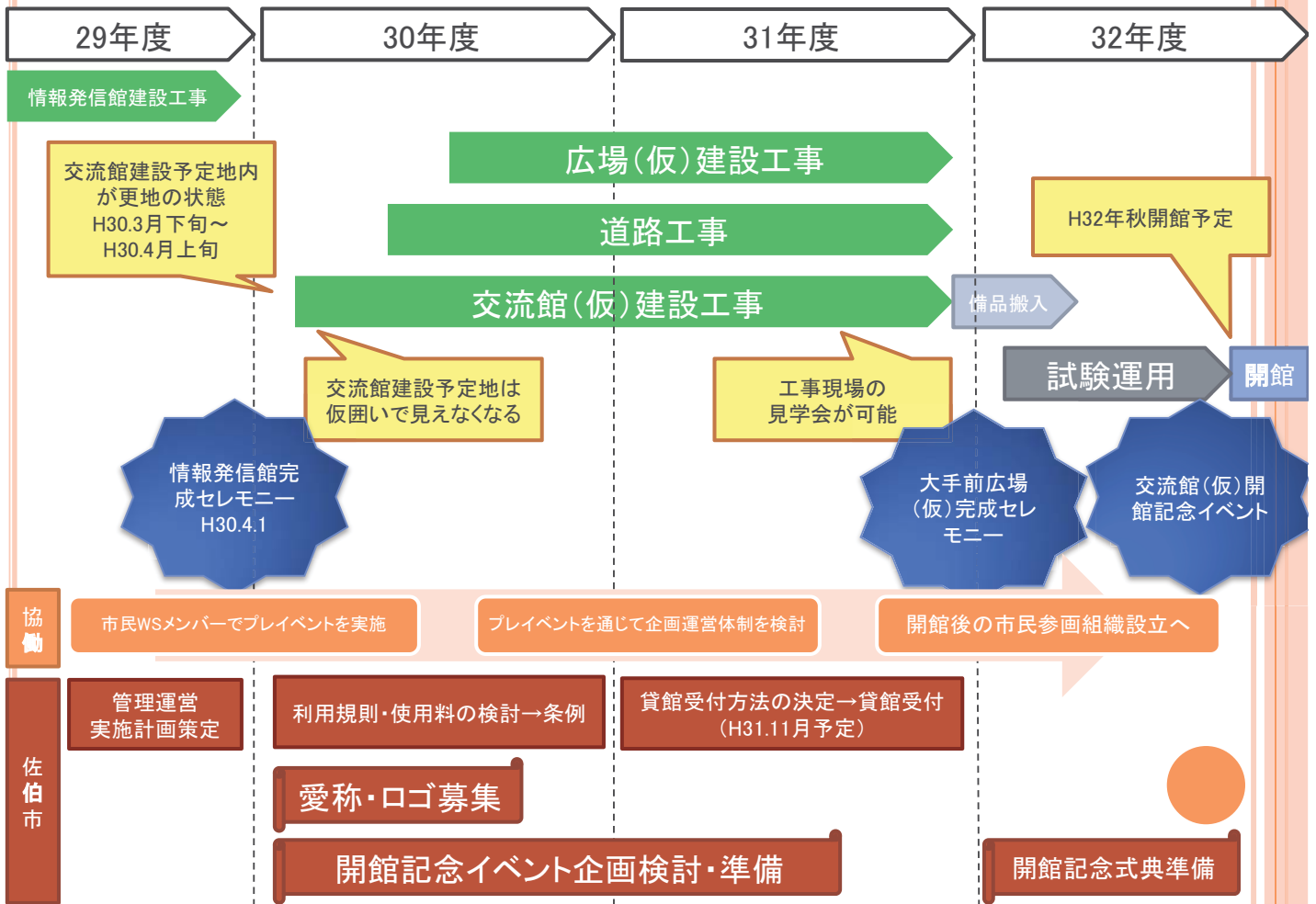
プレイベントって何？

プレイベントとは
大手前開発事業の周知活動として
複合施設が、できること
複合施設で、できること
わくわく感などを広めるために行うイベント

『わくわく』
があふれる大手前に！



大手前開発事業完成までのスケジュール(予定)



市の考え

H30年3月末から4月上旬は、
大手前まちづくり交流館(仮称)建設予定地が工
事用プレハブなどが無い状態。

建設予定地を活用したイベントに最適

『わくわく』
があふれる大手前に！

市の考え

H30年4月1日から
大手前情報発信館、
新たな大分バスのバス停、
バスルートとなる市道大手前新小路線2号線
供用開始

『わくわく』
があふれる大手前に！

市の考え

3月31日は土曜日
4月1日は日曜日
イベント開催日としてはベスト

『わくわく』
があふれる大手前に！

市が行うイベント

- 1、企画展示「大手前今昔写真展」
- 2、大手前旗作りワークショップ(仮)
- 3、バス路線変更セレモニー
- 4、大手前情報発信館オープニングイベント

『わくわく』
があふれる大手前に！

イベントを行うにあたって

市民参画・
市民協働で行いたい

『わくわく』
があふれる大手前に！

市民参画・市民協働の効果

市民の
「やってみたい」の実現
市の
「市民と一緒にやりたい」の実現

『わくわく』
があふれる大手前に！

市からの提案

市民ワークショップメンバーと市
が
協働で
イベントを
実施しましょう

『わくわく』
があふれる大手前に！

市からの提案

プレイベントの内容は
事業方針に沿っていればOK

自由に考えてください。

『わくわく』

があふれる大手前に！



市からの提案

部会ごとに考えて行う
全体で一つのイベントを行う
全体の中で部会が役割を担う

いずれもでもOK

『わくわく』

があふれる大手前に！



市からの提案

イベントを
検討・企画・運営
する中で
市民参画組織づくりを
進めたい……。

『わくわく』
があふれる大手前に！

みなさんの想いをかたちに
できる組織・仕組みづくりを
目指して
ご協力お願いします。

『わくわく』
があふれる大手前に！

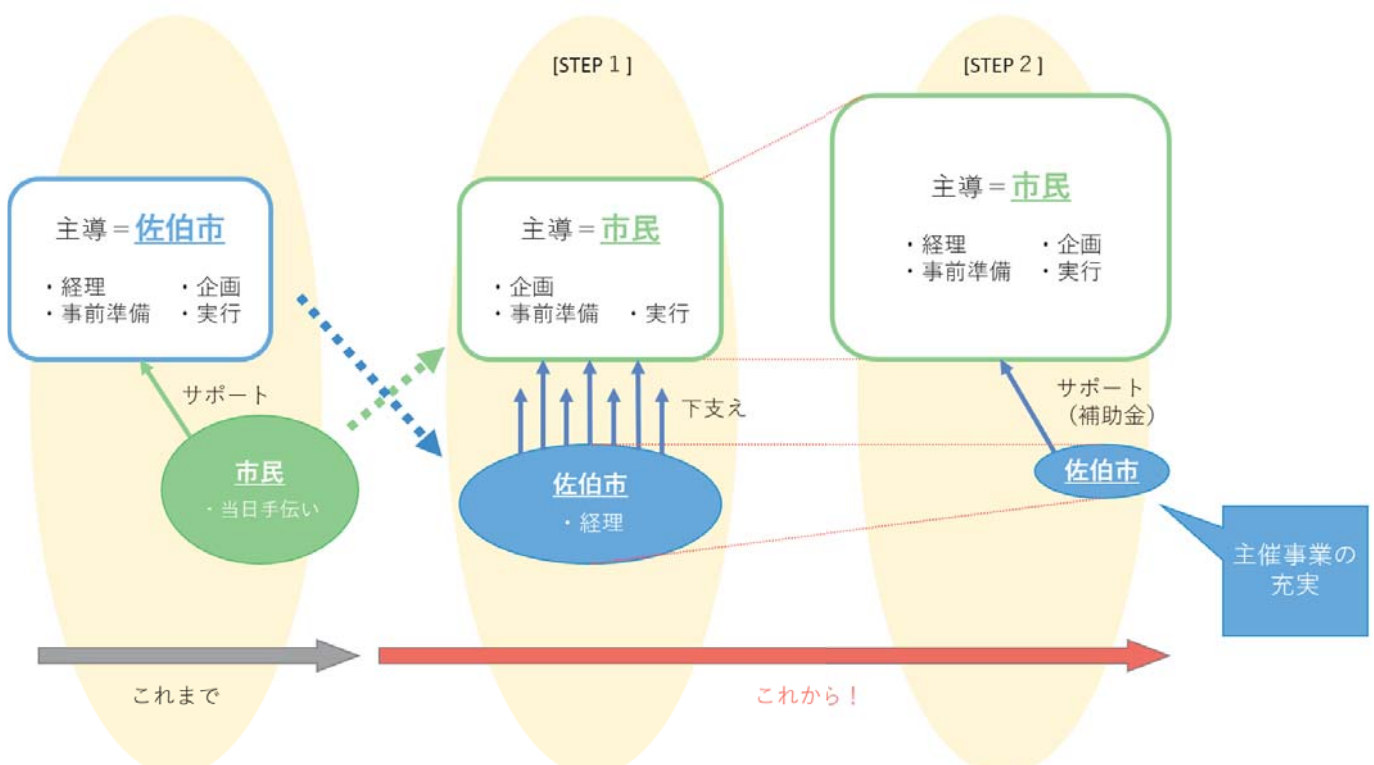
本日のポイント

- ① プレイベントのねらいや方針の再確認 済
- ② イベント実現のために知っておきたいこと
- ③ どんな企画にするか考えよう

Theatre
Workshop

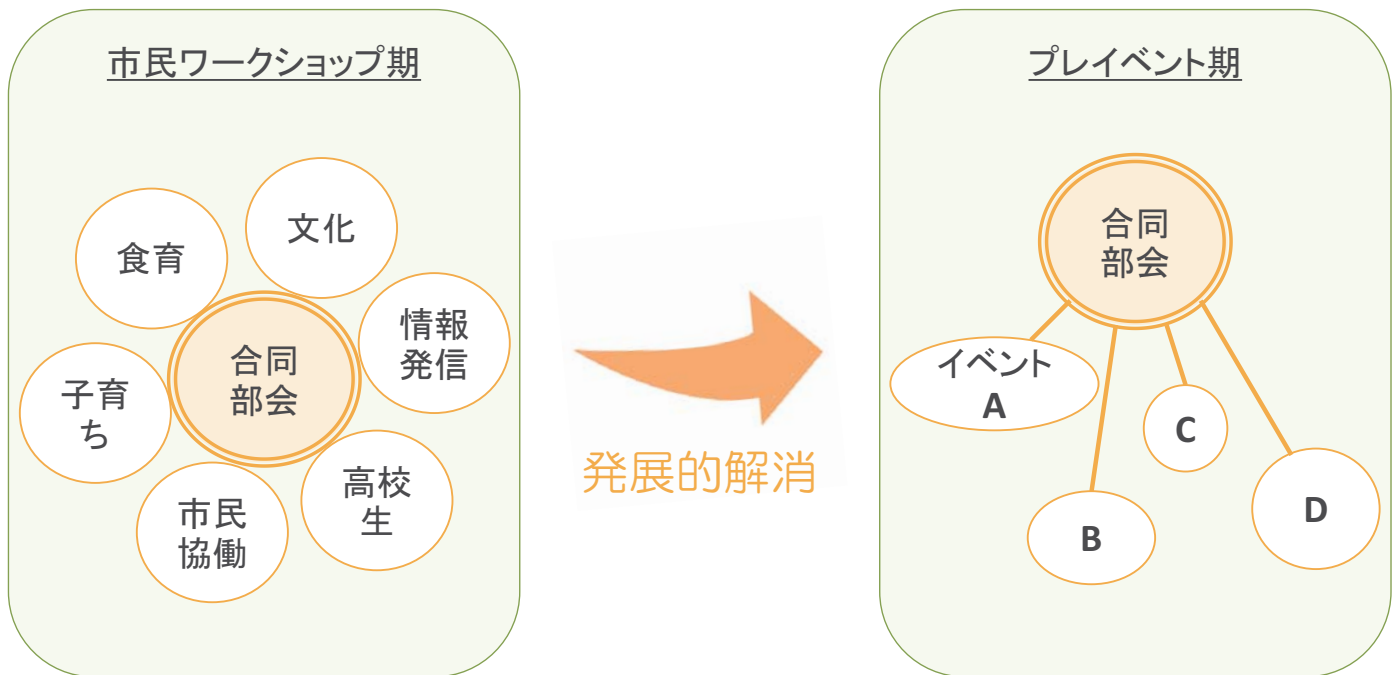
2. これからの共催事業推進のかたち

[交流館が目指す共催事業推進主体のかたち]



Theatre
Workshop

2. これからの共催事業推進主体



Theatre
Workshop

3. 開催要件について

- ◆ 平成29年度 プレイベント予算
⇒ **150万円!**
- ◆ イベント実施までの
年度内スケジュール（イメージ）
⇒ **資料②**
- ◆ 春まつりなど、既存イベントとの兼ね合い

Theatre
Workshop

4. チーム名を考える

プレイベント実行グループに
「市民ワークショップ」に代わる
名前を付けよう！

Theatre
Workshop

5. イベントアイデアの具体化

これまでのワークショップで出た
事業アイデアを基に、
実施するプレイベントを決定しよう！

【企画内容】

- イベント名
- 目的
- 日程
- 会場
- 参加対象

資料③
参照

など…

Theatre
Workshop

市からの提案

部会ごとに考えて行う
全体で一つのイベントを行う
全体の中で部会が役割を担う

いずれもでもOK

『わくわく』
があふれる大手前に！

5. イベントアイデアの具体化

これまでのワークショップで出た
事業アイデアを基に、
実施するイベントを決定しよう！

【企画内容】

- イベント名
- 目的
- 日程
- 会場
- 参加対象

資料③
参照

など…

6. グループメンバーの方針確認

◆市民ワークショップメンバー
（60名）を中心に結成する

◆新メンバーの募集など、仲間を増やす
ときはグループメンバーが中心となって
行動する

市がサポートします！

Theatre
Workshop

7. 次回のテーマ

イベント実現のために必要な 役割と分担を考えよう

- ・代表、副代表
- ・会計、広報、渉外
- ・問い合わせ窓口、設営撤去
- ・イベントサポート

（会場案内、受付、記録、清掃…）など

12月中に
開催予定！

何が必要？

何をやりたい？

人手が足りない
時はどうする？

Theatre
Workshop

最後に…

- 今日の感想
- 言い足りなかった！
- ご質問 など

「なんでもアンケート」

にご記入ください。

お疲れ様でした！

◇H29 年度プレイベント実施スケジュール（案）

キックオフ：「プレイベントを企画しよう」

日時：11月22日19時～

目的：基本方針の共有とアイデアの具体化をおこなう。

内容：これまでワークショップで話し合ってきたイベント案を具体化するために、必要となる方針を共有する。

そのうえで、年度内に実行に移すプレイベントを決定する。

キックオフ後は随時、欠席した仲間への声掛けや協力者募集を行う。

第2回：「プレイベント実行組織をつくろう」

目的：組織体制を具体化する。

内容：第1回で検討した内容を踏まえて、組織体制、役割分担を明確化する。
具体的な準備内容・スケジュールを検討する。

これ以降は準備活動期間として位置づけ、チームに分かれて実働する。
次回までに活動を進め、以降の全体会議は報告・確認の場とする。

第3回～本番まで：「プレイベントを実行しよう」

日時：少なくとも月1回の開催

目的：全体進行確認

内容：各チームから進捗報告をおこない、経過確認の場とする。

本番！

日時：（今後決定）

H30 年度：実施したイベントの振り返りを実施し、今後のプレイベント計画に反映する。

以上

資料③

◇実施イベント決定に向けた考え方の提案

ジャンル	イベント具体例 (参考：市民WS)	交流館の取組を 広く知らせる	参加者同士が 交流を深める	ポイント
クッキングイベント	イースター卵料理	△	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節感や「佐伯ならではの」の魅力を活用しやすい ・ 発表の場がない場合、発信力に欠ける
	伝統料理教室			
	みそまつり			
工作・体験 ワークショップ	竹灯工作づくり	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節感や「佐伯ならではの」の魅力を活用しやすい ・ 発表の場がない場合、発信力に欠ける
	各楽器指導教室			
	絵画教室			
	農地化へ向けた土づくり			
上映会 鑑賞会 講演会	食に関する映画	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上演内容によってイベントの色が左右される ・ 来場者に話を聞いてもらいやすい環境を作れる
	佐伯のお寺の説法の会			
	朗読劇			
交流会	クラス会	△	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模な集会となった場合、発信力に欠ける ・ 交流館を盛り上げていく基盤づくりに役立つ
	市民BBQ			
	餅つき			
既存イベントや 既存団体と連携	春まつり	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンバーが既存イベントと掛け持ちになってしまう可能性がある ・ 運営や集客のノウハウを学びやすい
	一灯照隅			
	こどもミュージカル			
	市企画のプレイベント			
フリーマーケット	子どもフリーマーケット	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人が気軽に参加できる ・ 屋外開催の場合、気候や天候に左右される
	ハンドメイド市			
展示	絵画展	◎	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人が気軽に参加できる ・ 出展者集めや集客に工夫が必要
	企業展			
	写真展			
主張・宣伝	青年の主張イベント	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外開催の場合、気候や天候に左右される ・ ダイレクトに交流館の取組をアピールできる
	佐伯の中心で愛を叫ぶ			
	市外に出張して宣伝			

※以下、自由記入欄

第2回プレイベント実行委員会

場 所：佐伯市役所

日 時：平成29年12月4日 19:00～21:00

議 事：

1. 役割分担の決定

実行委員会を組織するにあたり、代表者を自薦他薦により以下のように決定した。

代表：曾根田氏

副代表：池田氏、勝田氏、吉田氏、久野氏、清家氏、北口氏、山口氏、三輪氏

2. 事業案について

高校生のステージを中心としながら、各種企画を立ち上げる方針とするが、企画書を作成して詳細は検討していく方針とした。

議題1：チーム名の決定

全体会議キックオフでは、チーム名について以下のような意見が出されました。

◎どんな名前にしますか？

- ・佐伯らしい名前がいい
- ・“大きい”イメージ
- ・方言を使うのは？
- ・“みんなで作るぞ！”という感じ
- ・“魅せる、観せる、味せる”を活かした名前
- ・「佐伯〇〇」(頭に“佐伯”が付くのが良い)

◎どうやって決めますか？

- ・案を出し合って話し合いで決める？
- ・募集する？

◎具体案

1. 佐伯盛り上げ隊
2. 佐伯もりあげ隊
3. プレイベント実行委員会 ←固い！
4. 佐伯魅力発見隊
5. #佐伯愛 ~佐伯のことを大好きになれるイベントを…~
6. 大手前だよ!! 全員集合!!
7. 父ちゃん、母ちゃんで行った昔のことぶきやの様に人が集まる(人が集う)プロジェクト実行委員会



チーム名 決定!



議題2：役割分担の決定

プレイベントを実現させるために、役割分担を決定しましょう。

<役割の案>

部門	役割	内容	担当者名(or 協力者の集め方)
統括部門	代表	イベント全体の取り纏めなど	
	副代表	代表のサポートなど	
広報部門	広報	宣伝、イベント後の報告など	
技術部門	舞台技術	舞台、音響、照明、映像の演出協力、機材手配など	外注？
佐伯市部門	会計	予算の振り分け、会計報告など	佐伯市
	会場管理	使用会場の確保など	佐伯市
	記録	記録撮影、編集など	ケーブルテレビへ依頼？
高校生 パフォー マンスチ ーム	バンド	企画構成、出演交渉・出演者管理など	
	吹奏楽		
	書道		
	お茶		
子どもミュージカルチーム		企画構成、出演交渉・出演者管理など	
展示チーム		企画構成、展示物管理、会場設営・撤去等	
食イベントチーム		企画構成、メニュー開発、出店交渉・出店者管理など	



部門	役割	内容	担当者名(or 協力者の集め方)
当日ボランティア	設営・撤去	当日の設営・撤去、装飾など	
	受付	当日の来場者対応、配布物の管理など	
	会場案内	当日の来場者誘導、場内アナウンスなど	

◎その他、「やりたい!」「あったらいいな」という役割は?

部門	役割	内容	担当者名(or 協力者の集め方)



(仮称) 大手前まちづくり交流館・(仮称) 大手前広場 市民ワークショップメンバーによるプレイベント会議のご案内

◇キックオフ会議のご報告◇

11月22日(水)19時～ 市役所にて、プレイベント実施に向けた市民ワークショップ全体会議キックオフを開催しました！
各部会より、計10名の皆さんにご参加いただき、これまでの市民ワークショップで生まれたアイデアを活かしながら、どのようにプレイベントを実現させていくのか？充実した話し合いが行われました。

プレイベントの“目的”をしっかりと見据えつつ、皆が楽しめるようなイベントがついに動き出します。まだまだ始まったばかりの活動ですが、プレイベントも、このチームも、これから大きく育てていきたいですね。



春まつりは遊びに来る人がほとんど。交流館の情報が目立たなくなってしまうかも…

議題③ どんなイベントにする？

- ◎既存のイベント(春まつりなど)に便乗する？
- ◎独自のイベントを企画する？

↓

話し合いの結果、
“独自のイベントを企画する方針”
とし、内容は次のように考えました

新たなイベントを作る
には時間がかかる。
今あるものを活用しては？



議題① プレイベントの目的は？

- ☆周知活動 <外へ>
- ☆仲間を増やす <内へ>

議題② チーム名を考えよう

いくつかの案が出ましたが、
決定には至らず…
⇒次回のテーマに！

佐伯 魅力発見隊

佐伯 もり あげ 隊

こんなイベントにしよう！【5W1H】を整理すると…

Why: 何のために？	what: 何を？	When: いつ？
<ul style="list-style-type: none"> ▶プレイベントの目的「周知活動&仲間を増やす」を実現するため！ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶高校生：ライブ、吹奏楽、書道パフォーマンス、お茶 ▶子どもミュージカル(高校生吹奏楽とコラボ) ▶展示 ▶食：当時の再現 	<ul style="list-style-type: none"> ▶2017年3月後半 ▶一定のイベント期間を設け、その中にメインの日(土日)を作る
Who: 誰が？	Where: どこで？	How: どうやって？
<ul style="list-style-type: none"> ▶高校生 ▶子どもミュージカル ▶高校生アンテナショップ 味来堂+食育部会 	<ul style="list-style-type: none"> ▶大手前：野外劇場 建設予定地 	<ul style="list-style-type: none"> ▶屋台×8台を活用 ▶役割分担は…(※次回詳しく)

今回は

12月4日(月)19時～21時
市役所6階 大会議室にて開催します

- ①役割分担を考えよう
- ②チーム名を決めよう

途中参加も大歓迎！

あなたのご参加をお待ちしています☺

第3回プレイベント実行委員会

場 所：佐伯市役所

日 時：平成 29 年 12 月 19 日 18:00～19:00

議 事：

1. チーム名について

- ・参加者により再度チーム名案を出し合った。
- ・出された案に対して参加者が投票し、チーム名は「わくわく大手前隊」に決定した。

2. 事業案について

- ・代表の曾根田氏を中心として、今後は定期的に会合を開き、事業案の詳細を検討していくこととした。

イベント名称

目的

- ・大手前まちづくり交流館(仮)が2020年に開館することをPR
- ・大手前まちづくり交流館(仮)の開館準備に関わる市民参画組織の周知
- ・市民参画組織のメンバーを増やし、活動の輪を広げる

主催者

- ・市民ワークショップメンバー(チーム名未定)
- ・佐伯市

協力・支援

日時

平成30年 3月 日() 時 分 ~ 時 分

場所

【候補地】

- ・大手前野外劇場
- ・大手前野外劇場前広場(仮)
- ・大手前駐車場
- ・交流館(仮)建設予定地

イベント概要

【コンテンツ候補一覧】

- ・高校生パフォーマンス
バンドライブ、吹奏楽演奏、書道、お茶、ダンス
- ・こども(市民)ミュージカル
- ・豊南味来堂
- ・食育部会による食の提供、ビアガーデン

【目玉コンテンツの設定?】

全体運営計画

① イベント当日までの流れ

② イベント当日の流れ

会場警備計画

告知集客計画

準備物等

① 準備するもの【手配場所・手配する人】

屋台(8台)【市】

② 購入するもの【購入する人】

その他

コンテンツ名

出演者

実行委員会メンバー

リーダー:

メンバー:

具体的な内容

出演日時

平成30年 3月 日() 時 分 ~ 時 分

会場

会場レイアウト

運営計画

① イベント当日までの流れ

② イベント当日の流れ

準備物等

① 準備するもの【手配場所・手配する人】

② 購入するもの【購入する人】

その他

(仮称) 大手前まちづくり交流館・(仮称) 大手前広場 市民ワークショップメンバーによるイベント会議のご案内 第2号

◇第2回全体会議のご報告◇

12月4日(月)19時～市役所にて、プレイベント会議(第2回)が開催されました！前回より出席者も増え、12名のメンバーによって話し合いが行われました。今回は残念ながら欠席のご連絡を頂いた方を合わせると、現時点で21名の方から参加表明を頂いています。プレイベントの目標にも掲げていますが、この輪をもっともって広げていきたいところです。

さて、会議は前回の振り返りからスタート。今回のプレイベントは、高校生によるパフォーマンスを軸に、大人がサポートしながら全体を盛り上げる！という方針です。そこで、高校生はどのような事ができそうか？岩井さん、吉田さんから改めて詳しくお話し頂きました。加えて、高校生とコラボ出来るような市内の活動についてアイデアを出し合ったり、現時点でそれぞれが考えていることについて話を聞き合ったりと、全員参加の話し合いとなりました。

つづく会議後半では、イベント実施に向けた役割分担を決定！まずは各部門のリーダーが選出されました。今後は部門ごとの話し合いも増えていきますので、リーダーの皆さん、どうぞよろしくお願ひします！

◆各部門リーダー決定！◆

代表	曽根田敏治さん
	池田典子さん(代表代行、子どもミュージカル)
	勝田孝一さん(吹奏楽)
	吉田真悟さん(高校生)
	久野由香さん(食育)
副代表	清家幸雄さん(資金調達)
	北口芳康さん(まちづくり、ケーブルTV)
	山口清一郎さん(商工)
	三輪真美さん(子育ち)

◆メンバーの声◆

- ・プレイベントは開館に向けて徐々に盛り上げていくもので、今回はその最初の一歩。継続していくイベントにしたい。
- ・“交流館を知ってもらおう”には、広報活動が不可欠。同時に時間が必要なことでもあるので、スケジュールをしっかり立てることが大切だと思う。
- ・プレイベントの資金調達も市民の力で行えないだろうか。例えば協賛を確保するなど、方法を考えていきたい。



◆12月中の課題◆

- ①チーム名の決定
- ②開催日程の決定
- ③企画書の作成
- ④各種交渉開始

⇒出演者、出店者、ケーブルTV等へ

今回は

12月19日(火) 18時～19時

市役所にて行います。

市民ワークショップ報告会と同日開催です！

この日は少しだけ早く集まって、プレイベントについて話しませんか？
あなただけのご参加をお待ちしています◎

議題① そらそら チーム名を決定しよう

第2回会議でも話し合われましたが、結果は再び保留に…。次回までの宿題となります。ぜひ素敵な名前を考えてみてください。

議題② 「12月中の課題」に取りかかろう

次回開催時には春まつりの日程も決まっている予定です。開催日も含め、年内にクリアしたい課題について、より詳しく検討します。